

柔らかなぬくもりに包まれようやくの春の訪れを実感する今日（こんにち）ここに、ご来賓ならびに新入学生の保護者の方々のご臨席を賜り、令和6年度豊田工業高等専門学校入学式をかくも盛大に挙行できますことに、まずもって感謝を申し上げます。

式辞

ただいま、213名の本科新生、第3学年に入学する2名の留学生、そして専攻科入学生24名、あわせて239名の皆さんをお迎えできることを、本校教職員一同大変喜ばしく思っています。皆さん、入学本当におめでとう。皆さんは、豊田高専を志望し、努力を重ね、入学試験に見事合格して本日を迎えています。実力をつけ、自信も湧いていることでしょう。まずは自らを褒めてあげてください。そして、もう一つ大切なこととして、君たちの心身のコンディションを自分のこと以上に大事に思いここまで見守ってくださった、親御様あるいはさらにご親戚の皆様は、今一度深い感謝の気持ちを伝えること。直接言葉で感謝の気持ちを表すようにしてください。

保護者の皆さまにおかれましては、ご子息ご令嬢の入学、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。彼らが胸を張ってこの入学式に臨んでいる晴れ姿をご覧になり、感慨深いものがあろうと拝察します。今後とも温かく彼、彼女の成長を見守ってあげてください。よろしく願い申し上げます。

さて、豊田高専は昭和38年に実践的、創造的技術者の早期教育を目的とする国立高等教育機関として設置されました。そして、これまで60年を超える豊田高専の歴史の中で培われた本校の特長の第一は、学生の自主性、自律性を重んじる校風であります。これを踏まえ、私は2年前あるいは1年前のここ、入学式の場において、なぜ自主性が重要なのか？そして学ぶということはどういうことか？について、当時の入学生の方々と考えました。

今日この場では、別の、より具体的な授業聴講の観点から、主体的・能動的に学ぶとはどういうことか、そして、これがどんな学習効果をもたらすのか？について考えてみましょう。

皆さんは、授業中は先生のお話が分かったと思えて、板書内容もノートにとったのに、しばらく放置するとこれを忘れてしまい、ノートの内容すらうまく思い出せなくなる、といった経験、ときどきありませんか？これには、ワーキングメモリとも呼ばれている短期記憶のはたらきが関わっています。つまり、人間は短期間の記憶では、情報の塊（かたまり）として 7 ± 2 ぐらいしか、覚えておくことができないという特性をもっているのです。だから、一度覚えたことでも2~3週間経つと、急速に記憶内容は減衰します。授業ではたくさんの知識が一度に入ってきますから、1回聞いただけではだめなんです。それではどうするか？授業で学んだ知識を、自らの意思をもって、その場で理由を考えたり、知識を応用して実問題の中で答えを探ったりすることによって、頭の中で反芻する。これが、大事なのです。

もちろん、私たち教職員も皆さんが知の獲得に取り組み、興味をもつように支援し、問題を工夫して提示したり、あるいはロボコン等様々なコンテストの場を提供しつつ、一緒に考えたりしていきます。本科入学の皆さんには、この豊田高専で送る5年の間に、勉学に必要な情報提供は言うに及ばず、海外留学、様々なコンテスト、地域社会貢献・ボランティア活動、などなど、取り組みたくなるたくさんのチャンスがあります。また、専攻科の皆さんには、本格的な研究を通じて、先端の科学技術や高度な社会実装のための研究を知り、学際的な知の広がりを味わうチャンスがあります。このような経験は、皆さんが持っている知識や能力を最大限利用して粘り強くチャレンジする態度を養成するだけでなく、社会貢献意欲や共感力をもきっと育ててくれるものです。

点字と文書を相互に自動翻訳する人工知能の開発、有機農業とロボット・AI を組み合わせた持続可能な農業の実現、国際宇宙ステーションに替わる無人の小型衛星による宇宙環境利用プラットフォームの構築、と聞いて「凄い」「格好いい」って思いませんか？これらは皆さんと同じ、高専出身の先輩が起業して（スタートアップを果たして）すでに実現している、あるいは構築中の革新的な技術体系です。皆さんも、やがて社会の難題に果敢に立ち向かえるように、まずは知識・技能を蓄え、自らの力でコツ

コツとその修得に励む姿勢・態度を身に付けましょう。

以上、私の式辞では、新入生の皆さんに豊田高専でいかにアクティブに学ぶか？のコツを伝授しました。あとは、皆さんひとり一人が自分らしい知の獲得方法を開発してってください。皆さんが、これからの5年間の高専生活の中で、個々に自分らしい成長を果たされることを、教職員一同、今から楽しみにしています。

本日の入学、誠におめでとうございます。

令和6年4月2日

独立行政法人 国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校長 山田陽滋